

アユ放流エリアにヤマメ成魚を放流して釣り人を呼ぶ！

2016. 4. 20 栃木県水産試験場

渡良瀬川（渡良瀬漁協管内）は、川幅が広くテグス張りが困難です。また、市街地が近いことからロケット花火等による追い払いもやりにくい状況にあります。そこで渡良瀬漁協では、アユ放流エリアに定期的にヤマメ成魚を放流しています。これは、ヤマメ釣りの釣り人が朝から川に入ることによってカワウが追い払われることを狙ったものです。

カワウを追い払うためだけに朝から川に行けと言われるとツライですが、ヤマメを釣るためなら頼まれなくても朝から川に行くという釣り人も多いのではないのでしょうか。

放流したヤマメにアユが食べられてしまうと心配する声もありますが、何もせずにカワウに食べられる量とは比較になりません。実際に、渡良瀬川でアユが釣れていることから、その有効性が伺えます。



図1 渡良瀬川本流（北関東道付近）のアユ放流エリアでヤマメを狙う釣り人